

ATC施設利用・共同開発研究申請書(□新規 ■継続 □変更)

国立天文台先端技術センター センター長 殿

平成 31年 2月 28日

下記のとおり施設利用を申請します。

①代表者氏名： 中島 拓		④ 連絡先：(E-mail)	
② 所属機関 / 部局 名古屋大学 宇宙地球環境研究所		(電話)	
③ 職名 又は 学年 助教		(FAX)	
⑤ 研究課題名： ミリ波・サブミリ波帯直列接合型SIS素子の開発			
⑥ 研究課題および施設利用の目的		URL (省略可): http://	
本研究は、名古屋大学のサブミリ波望遠鏡「NANTEN2」や宇宙地球環境研究所の大気ラジオメータはじめ、国立天文台や大学が運用しているミリ波・サブミリ波帯(100～345 GHz)超伝導受信機に搭載可能な新しいSIS素子を開発する。従来よりも低雑音・広帯域で、広いダイナミックレンジを持つ直列接合型のSIS素子を安定的に製作できることを目指し、ATCのSIS素子開発グループおよび受信機開発グループと連携し、ATC の施設を利用して開発研究を実施する。			
⑦ 希望利用期間：H31年 4月 1日 ～ H32年 3月31日(継続使用の場合は、一年毎の更新が必要です。)			
⑧ 利用者およびその連絡先(電話番号、E-Mail)			
先端技術センターの関連職員の氏名を記入。(該当者がいない場合は記入不要) 鶴澤 佳徳、Shan Wenlei、小嶋 崇文、藤井 泰範、江崎 翔平			
利用設備の申請： 使用する項目にチェック(☑ or ■)を入れてください。			
☐ メカニカルエンジニアリングショップ 業務依頼の内容を具体的に裏面に記入してください。	☐ 設計	☐ 実験スペース	__ × __ m ²
	☐ 工作依頼	☐ 電源の使用	100V, __A, __口
	☐ 測定・評価		200V, __A, __口
	☐ 超精密	☐ クレーンの利用	この欄に利用クレーンの規模を記入して下さい。
☐ オプティカルショップ	測定器の予約はWebを利用して下さい。	☐ 特定化学物質	この欄に物質名を記入して下さい。
☐ スペースチャンバーショップ 裏面に作業内容を記入してください。	☐ 大型スペースチャンバ ☐ 中型真空チャンバ ☐ 小型真空チャンバ ☐ その他()	☐ 有機溶剤	この欄に使用する溶剤の種類を記入してください。持ち込む場合は、別途届出用紙に記入して提出してください。
		☐ 高圧ガス	別途届出用紙に記入して提出。
☐ 特殊蒸着・超微細加工ユニット 裏面に依頼内容を記載してください。	☐ 特殊蒸着	☐ 液体窒素： xx ㍓/月	☐ 乾燥窒素
	☐ 微細加工	☐ 液体ヘリウム： xx ㍓/月	ここに推定月使用料を記入して下さい。
☐ クリーンルーム (CR) 裏面に作業内容を記入して下さい。	☐ 大型CR(クラス1,000) ☐ 中型CR(クラス10,000) ☐ 小型CR(クラス10,000)	☐ 真空ポンプ 設備管理ユニットに予め相談必 ☐ エレクトロニクス測定機器利用	☐ 冷却水の利用 ☒ サブミリ波FTS
	☒ その他 (SIS素子作成設備)		
安全衛生講習： ☒ 希望する / 希望しない		保険加入の有無(学生のみ) ☒ 有 ・ 無	

申請事項に変更が生じた場合は、速やかに変更申請書を作成し提出願います。

送付先(先端技術センター事務)： atc-office@atc.mtk.nao.ac.jp